

Ⅲ. 第3号議案(2007年度活動方針)

1. 2007年度活動方針

ユビキタス社会の急速な広がりによるITの浸透、グローバルな業界再編並びに競合・競争の激化、或いは日本版SOX法の施行に代表される法改正など、社会構造やビジネス環境の様々な変化に迅速かつ柔軟に対応し、競争を勝ち残る企業となるために、経営と一体となったITの利活用はますます重要なものとなっている。

このような状況の中、2007年度ファミリー会はLS研(リーディングエッジシステム研究会)と統合し、新たなファミリー会としてスタートする。会のスローガンである「語りあう夢、きそいあう知恵」の下、両会の良さを活かしながら、研鑽・交流の幅を更に広げ、より一層の活動の充実を図り、時代に即した魅力あるユーザー会を目指す。

① 会員企業の課題解決のための活動推進

- ・内部統制、情報セキュリティ、2007年問題等の様々な課題解決に向けたIT利活用の最新技術情報及び先進事例などの情報提供を推進する。
- ・ITスキルアップ及びコーチング、モチベーション、セルフマネジメント等のヒューマンスキルアップを図る活動を積極的に推進し、次代を担う人材の育成を支援する。

② コミュニケーション強化

- ・分科会等の少人数制による継続した研究活動を中心に、異業種交流による人的ネットワーク作りを支援する。
- ・富士通との意見交換会並びに各種研究会活動を通じ、富士通とのパートナーシップ強化を図る

③ LS研との統合による研鑽・交流活動の拡充

- ・LS研究委員会活動への参加機会の拡大を図るとともに、各種活動成果の積極的な活用を促進し、より一層幅広く研鑽・交流の充実を図る。